

平成 20 年 2 月

江差信用金庫の経営内容について

お客様 各位

当金庫の平成 19 年 12 月末現在における、主要計数、重要指標等について次のとおりお知らせいたします。

四半期毎の情報開示につきましては、直近の経営実態をお取引先の皆さまにいち早くお伝えすることで、当金庫の健全性・安全性をご理解いただき、安心してお取引いただくために、任意で開示させていただくものであります。

今回公表させていただいた計数は、12 月末時点において、昨年 11 月 12 日から同年 12 月 20 日まで実施されました金融庁による検査結果を踏まえ、3 月期末決算とほぼ同様の決算処理を行い算出しております。

なお、信用金庫における法定の決算は 3 月期末のみであり、開示債権をはじめとする計数等については監査法人等の監査を受けていないことをご承知おきください。

江 差 信 用 金 庫
理事長 渡 邊 捷 美

■ 営業店一覧

本店 営業部	桧山郡江差町字本町 1 3 2 番地	0139-52-1036
上ノ国支店	桧山郡上ノ国町字大留 2 4 4 番地の 9	0139-55-2616
熊石支店	二海郡八雲町熊石根崎町 1 1 5 番地の 1	01398-2-3026
乙部支店	爾志郡乙部町字緑町 3 9 9 番地の 1	0139-62-2034
厚沢部支店	桧山郡厚沢部町新町 9 2 番地の 2	0139-64-3231
福島支店	松前郡福島町字福島 5 3 番地の 1	0139-47-2022
奥尻支店	奥尻郡奥尻町字奥尻 8 0 9 番地	01397-2-2525
函館支店	函館市松陰町 23 番 4 号	0138-53-3221
松前支店	松前郡松前町字福山 5 0 番地の 1	0139-42-2727
七重浜支店	北斗市七重浜 2 丁目 2 8 番 1 1 号	0138-49-1671



URL (ホームページ) <http://www.e-shinkin.co.jp>

平成 19 年度（平成 20 年 3 月期）第 3 四半期の概況
（平成 19 年 4 月 1 日 ～ 平成 19 年 12 月 31 日）

■ 損益の状況

- 19 年 12 月期の業績は、「業務純益」が 344 百万円と減益になったほか、「経常利益」「四半期(当期)純利益」はそれぞれ、△582 百万円、△601 百万円の損失決算となりました。

取引先の一社、クレジット会社の倒産(民事再生手続き開始の申立て)により貸倒引当金を計上したほか、他の貸出金等についても厳格な資産査定による債務者区分を行い、貸倒引当金を大幅に積増しすることにより将来に向けた健全性を確保することとしました。

単年度において多額の損失金を計上することとなりますが、当金庫の内部留保は「経営安定強化積立金」の 1,480 百万円をはじめ、総額で 12,730 百万円を有しており、健全性には全く揺らぎはございません。

なお、20 年 3 月期の決算損失は、第 4 四半期(20 年 1 月～3 月)の収益見込みや不良債権の一部回収等により 12 月末に比べ減少する見込みです。

	19 年 12 月末	18 年 12 月末	増 減 額	増 減 率
業 務 純 益	344,786	616,657	△271,871	△ 44.08
経 常 利 益	△582,743	188,736	△771,480	△ 408.75
四半期(当期)純利益	△601,158	118,176	△719,334	△ 608.69
コ ア 業 務 純 益	509,706	577,752	△68,046	△ 11.77

(注 1) 記載金額は千円未満および小数点 3 位以下を切り捨てて表示しております

(注 2) コア業務純益＝業務純益＋一般貸倒引当金繰入額－国債等債券売却益－国債等債券償還益＋国債等債券売却損－国債等債券償還損＋国債等債券償却

■ 開示債権の状況

- 取引先の一社、クレジット会社の倒産(民事再生手続き開始の申立て)による債務者区分のランクダウンのほか、より健全性を確保するため厳格な資産査定を行ったことで大幅に増加しました。

(1) 金融再生法ベースの債権区分による開示

区 分	19 年 12 月末(A)	19 年 3 月末(B)	増減 (A)-(B)
破産更生債権およびこれらに準ずる債権	815	883	△ 67
危険債権	2,924	1,157	1,767
要管理債権	250	545	△ 295
小 計	3,991	2,586	1,404
正常債権	71,282	73,110	△ 1,828
合 計	75,273	75,697	△ 423

(注 1) 3 月末の自己査定をベースとして、簡便的な債務者区分の見直しを行い、債務者区分が下方に変更になった債権および期間中の回収額を反映させております。

(注 2) 貸出金のほか債務保証見返(代理貸付等に伴う保証)、未収利息及び与信に関連する仮払金を含めております。

(2) 開示債権区分毎の保全状況

区 分	19 年 12 月末 (A)	担保・保証による保全 (B)	貸倒引当金 (C)	(A)-(B)-(C)
破産更生債権およびこれらに準ずる債権	815	400	415	—
危険債権	2,924	2,120	789	14
要管理債権	250	56	76	117
小 計	3,991	2,577	1,282	131
正常債権	71,282			
合 計	75,273			

(注 1) 担保・保証による保全(B)には、3 月末から基準月末における担保劣化あるいは保証の見直し等に伴う変動額を反映させております。

(注 2) 貸倒引当金(C)は 3 月末から基準月末の間で債務者区分の下方変更及び担保・保証の見直しに伴って発生する必要額を見積もった額で、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」について個別貸倒引当金を、また、要管理債権については貸倒実績率に基づき算定した一般貸倒引当金を計上しております。

■ 自己資本の状況

- 19年12月期の「自己資本総額」は13,318百万円、「自己資本比率」は20.59%となりました。
「自己資本総額」は、保有有価証券が評価益に転じたことによるマイナス要因が剥落した一方、12月末時点の決算損失分が減少したことにより、19年3月末に比べ、573百万円の減少となりました。
分母となる「リスク・アセット等」は運用資産の増加等に伴い1,049百万円増加し、「自己資本比率」は1.24%低下しました。
自己資本比率の国内基準は4%です。当金庫は決算損失を吸収してなお20%を維持しており、揺るぎない健全性を確保しております。

	19年12月末	19年3月末	増 減
自己資本比率 (A)÷(B)	20.59%	21.83%	△1.24%
自己資本総額 …(A)	13,318	13,891	△573
基本的項目計	12,914	13,494	△579
補完的項目計	404	397	6
リスク・アセット等 …(B)	64,658	63,609	1,049
オン・バランス項目	58,970	57,986	983
オフ・バランス項目	565	499	65
オペレーショナルリスクを8%で除して得た額	5,122	5,122	-

■ 主要勘定の状況

- (1) 預金 140,405百万円 (年度初来比 4,949百万円 3.65%の増加)
○ 預金は、年金振込みを主体として個人預金が堅調に推移したほか、公金も指定金融機関を主体に地方交付税入金による定期性預金へのシフトを要因に伸長しました。

預金人格別の状況

	19年12月末	19年3月末	増 減
一般預金	125,321	122,741	2,580
個人預金	104,173	102,254	1,919
一般法人預金	21,147	20,486	660
公金預金	14,322	12,095	2,226
金融機関預金	761	618	142
合計	140,405	135,455	4,949

(注) 預金は譲渡性預金を含みます。

- (2) 貸出金 74,566百万円 (年度初来比 △489百万円 0.65%の減少)
○ 貸出金は、建設・小売業で運転資金の需資により増加したものの、地公体の一時借入金の高額落ち込みや個人の住宅関連等資金の低迷及び約定返済等を要因に年度末比減少しました。

貸出金業種別の状況

	19年12月末	19年3月末	増 減
製造業	6,960	6,902	58
農業	18	21	△3
林業	390	347	43
漁業	41	47	△6
鉱業	14	10	4
建設業	7,956	7,572	384
電気・ガス・熱供給・水道業	3	—	3
情報通信業	506	555	△49
運輸業	714	743	△29
卸売業	2,841	2,673	168
小売業	5,889	5,457	432
金融、保険業	973	1,158	△185
不動産業	18,379	18,244	135
各種サービス業	13,452	13,315	137
地方公共団体	3,671	4,747	△1,076
個人	12,749	13,255	△506
合計	74,566	75,055	△489

(3) 有価証券

○有価証券運用は、格付けの高い公社債等を中心に各種のリスクに配慮した安全な運用に努めており、12月末における有価証券の保有状況は以下の通りであります。

(満期保有目的の債券で時価のあるもの)

	19年12月末			19年3月末
	償却原価	時価	差額	差額
国債	8,718	8,884	166	14
政保債	2,497	2,519	22	△9
外国証券	3,000	2,878	△121	△124
合計	14,215	14,283	67	△119

(その他有価証券で時価のあるもの)

	19年12月末					19年3月	
	取得原価	時価	評価差額	評価差額		評価差額	
				うち益	うち損		
国債	9,688	9,626	△62	60	123	△146	
地方債	1,866	1,883	17	18	1	16	
社債	政保債	1,598	1,621	22	24	1	7
	金融債	5,190	5,201	11	26	15	△14
	事業債	1,100	1,101	1	2	0	△0
その他	投資信託	1,371	1,340	△31	87	119	34
	優先出資証券	343	405	61	61	-	71
合計	21,159	21,180	20	281	260	△31	

(時価のない有価証券)

その他有価証券	非上場株式	5,660千円
	投資事業有限責任組合出資金	26,690千円

■ トピックス

○地域貢献活動等のご紹介(平成19年7月から12月末まで)

地域の皆さまに少しでもお役に立つため、各地域で行われている諸行事に積極的に参加・参画をさせていただいております。

□ 環境への取組

- ・「千軒地区国道パーキングクリーン事業」に参加し、パーキングエリアの清掃活動を行いました。(福島支店)
- ・函館海岸の清掃美化活動の一環として「大森海岸」清掃、また店舗周辺の空き缶・吸殻等の清掃作業を行いました。(函館支店)
- ・「秋の空き缶ゼロの日クリーン作戦」に参加し、道路周辺の空き缶・ゴミ拾い清掃を行いました。(福島支店)
- ・「松前町クリーンアップ運動」に参加し町内の清掃活動を行いました。(松前支店)

□ 文化活動

- ・金庫ロビーにて消防署主催、防火意識啓発の為に「防火書道コンクール」「防火作品展」の入賞作品展示会を開催しました。(福島・松前支店)
- ・地域における子供や子育てを支援する「厚沢部町せわすき・せわやき隊」へ加盟しました。(厚沢部支店)

□ 地域行事への参加

- ・「セ・ファミリー-北海道2007」へ参加し、交通安全意識の高揚を図りました。(全店)
- ・年末年始防犯運動へ参加し小学生による一日警察官を受入れ防犯意識の高揚を図りました。(熊石支店)

□ 福祉活動

- ・厚沢部消防署の協力を得て「AED(心肺蘇生法)」の実技指導を全員受講しました。(厚沢部支店)
- ・特別養護老人ホームくまいし荘の文化祭で模擬店の手伝いをしました。(熊石支店)

□ スポーツ振興への支援

- ・道南の少年チームによる道南少年軟式野球大会の運営の手伝いをしました。(上ノ国支店)
- ・パークゴルフ大会に参加するとともに運営の手伝いをしました。(本店・熊石・福島)

□ 寄付

- ・ボランティア活動団体「桧山南部ふれあい船の旅」へ寄付を行いました。(本店)
- ・北海道社会福祉協議会主催の「北海道社会福祉大会」へ寄付を行いました。